令和8年度第１回滋賀県原子力安全対策連絡協議会　会議要旨

１　開催日時

令和8年（2026 年）10 月 20 日（火）10：00～11：05

２　開催場所

滋賀県危機管理センター2階　災害対策本部室（Zoom 併用）

３　出席者

・　滋賀県原子力安全対策連絡協議会構成員
・　関西電力株式会社
・　日本原子力発電株式会社
・　国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

※　詳細は、出席者名簿のとおり

４　議事および内容

（1）　原子力発電所のトラブルおよび対応状況について

（説明：関西電力株式会社）

・　プラントの運転・定期検査の状況
・　美浜発電所３号機の高圧タービンからの蒸気漏れによる原子炉の手動停止について
・　大飯発電所３号機の「界磁喪失」警報発信に伴う発電機自動停止について
・　美浜発電所３号機の６Ａ高圧給水ヒータ常用水位制御弁出口ラインベント弁周辺からのわずかな水の滴下に伴う原子炉の手動停止について

【質疑応答】

○　大津市危機管理監

・　3件の何れのトラブルに関しても放射性物質の漏れはなかったということか。

○　関西電力株式会社

・　今回のトラブルはすべて2次系であり、放射性物質が通るところではなく、放射性物質による影響はない。

○　長浜市防災危機管理局長

・　資料4ページの写真を確認したところ、かなりショックな画像である。
・　発電所の信頼性を向上していくことが今後につながるので、予防保全や点検の徹底など、より一層の取組みが必要となる。
・　有事の際の情報伝達の確立はこれまでも確認されているため、その点も含めてよろしくお願いする。

○　関西電力株式会社

・ 予防保全にしっかり取組んでいきたい。
・ 管理を徹底しなければ、本件のような損傷が発生してしまうので、今一度点検して再発防止に努める。
・ 情報の透明性について、本件のような事象が発生すれば、的確に透明性をもって説明する。

○ 滋賀県防災危機管理監
・ 資料6ページの美浜3号機の再発防止策として、目視点検のガイドラインで今回見逃したものについて、新たなポイントも含めて目視点検していくとの理解である。
・ 肉厚が薄くなれば温度が高くなるということがわかるのであれば、サーモグラフィのような手法など、目に見える形でより具体に点検できればよいと思う。
・ いかに予兆を見つけるかが重要であり、肉厚点検は点で行うものであるが、全体を見て予兆を掴めるような対策に取り組んでもらいたい。

○ 関西電力株式会社
・ ご指摘のとおり、目に見える形で残していくことが重要と考えている。
・ 今回のガイドラインでは、減肉、様相に異変があれば、肉厚測定をすることとしており、肉厚測定は目に見えてデジタルで残るので、数値を記録に残し、翌年も測定して進行度合いを確認して、適切な時期に対応したり、ステンレスを貼ったりする等の対処をとる。
・ より正確に予兆できるようにサーモグラフィやAIなどの発展した技術等、使用できるものは使用していきたいと考えている。

（2）原子力施設の近況について

ア 敦賀発電所の近況について

（説明：日本原子力発電株式会社）
・ 敦賀発電所の概要
・ 敦賀発電所1号機の廃止措置状況
・ 敦賀発電所2号機の運営状況
・ 敦賀発電所3、4号機計画

イ 新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置実施状況等について

（説明：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構）
・「ふげん」および「もんじゅ」の概要
・「ふげん」の廃止措置・解体の状況
・ 福井県内における「ふげん」クリアランス金属の再利用取組状況
・「もんじゅ」の発電設備の解体撤去作業および2次メンテナンス冷却系の解体
・「もんじゅ」ナトリウム搬出に向けた取組み

（3）原子力安全協定の運用状況

（説明：滋賀県）
　令和7年度および令和8年度、原子力安全協定に基づき原子力事業者から受けた報告件数と内訳